

大島みらい新聞 No.6

2013年8月29日発行



ごあいさつ～No.6の発行にあたって～ 大島中学校美術科非常勤講師 小野寺祐紀

この夏、大島は久しぶりの活気に満ちた。観光に来た人、帰省した友人たち、彼らとの対話を通じて、大島が魅力あふれる豊かな島であることと同時に、架橋や防潮堤、復興への道のりといった課題も山積していることを痛感した。9月中旬には大島みらいデザインスクールが催される。未来を担う大島の子供たちが持つ、創造的な感性と知性が、より良い島をつくる原動力になればと思う。



(上)「第7回大島のみらいを考える会」参加者でディスカッションを行っている様子。

架橋後の大島、亀山の観光を考える。

大島の観光—これまでとこれから—

光とは「国の光を観る」が語源であるとされます。観光のトレンドの変遷は「どこに行くのか？」観光地の名前・場所で競った時代から「何ができるのか？」という体験型へ、これからは「癒されたい」など不確定な感情に合わせた多様な観光の時代といわれます。

大島の観光は大正～昭和初期に島の庭園化構想に基づいて多くの桜の木を植栽、小田の浜の潮風の健康作用に着目して「海風浴」という言葉に着目し、健康保養の島づくりに着手していました。高度経済成長期には国立公園の指定、亀山リフトの建設、民宿観光など

観光基盤整備を全国に先がけて取り組みました。

大島のオンリーワンの魅力とは何でしょうか？亀山や小田の浜など三陸海岸地方の風景の素晴らしさを凝縮したような「自然環境」、自然にはぐくまれた文化、歴史、人間的魅力など「しまの文化」、環海の温暖な気候と砂浜、潮風を生かした「健康の島」、島民の健康・長寿を支える郷土料理「スローフード」の「食の島」など、多くの可能性を生かしてこれから大島がどのような輝く光を発信していくか皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

(気仙沼大島みらいチーム 福岡孝則)



小田の浜



亀山からの風景

亀山ロープウェイの実現に向けて

気 仙沼市への観光客入込数(旧唐桑町含む)は、震災前の2000年代に減少を始め、年間200万人を割るようになり、宿泊する人の割合も1990年代に25%から13%へと半減しておりました。大島への観光客入込数は1990年代に年間45万人から32万人台へ、亀山リフトの年間利用者数は10万人台から2.5万人へと激減しておりました。

大島を取り巻く観光は、かつての家族連れや若者で賑わった時代から、国民の余暇・レジャー意識の変化等を受けながら変遷してきましたが、大島架橋と三陸縦貫自動車道の完成によって、人・モノ・観光客の流れは一気に変わる可能性があります。

そうした中で、大島のみならず気仙

沼市の復興にとっても、大島の観光復興をどう活かすかが重要な鍵を握ってくると考えられます。復興を契機に、1990年代に始まった観光衰退の流れを変えなければなりません。

大島の観光復興を考えると、玄関口の浦の浜で観光客をどう受け入れ、亀山にどう人を運ぶかが重要課題になります。移送手段としてロープウェイは魅力的であり、浦の浜に計画しているウェルカムターミナルと一体運営することで、自立経営と面的な魅力拡大の可能性も高まります。現在、国の復興予算を使つてのPFI事業の調査をする案件に応募することを、気仙沼市に提案しています。今後の可能性に期待しましょう。

(気仙沼大島みらいチーム代表 長峯 純一)



徳島県三好市・箸蔵山ロープウェイ (三好市観光協会のHPから引用)

島民みなさんが期待する亀山のみらい

※8月4日「大島のみらいを考える会」でのワークショップ時のコメントをまとめたものです。

テーブル1 今井先生

- ・つながりの再生・再構築→震災で壊れたわけではない。
- ・つながりがあったからこそ震災を乗り越えられた。
- ・「大島の海と緑を大事にしていきたい/守ります」(小学生でも分かるように)
- ・架橋後に失われてしまうかもしれない埋蔵文化財、寺社仏閣、食文化などを継承したい。
- ・離島として持っていた歴史・文化を残すという方向で、観光を盛り上げたい。



テーブル2 福岡先生

- ・「伝承パンフレット」はどうか？
- ・「涙の松」の物語を説明するもの。(看板/語り部など)
- ・鐘や記念写真を撮る場所。
- ・電動自転車などが用意できると良い。
- ・亀山の遊歩道は、桜が咲けば大島神社とも連携して良いコースになる。
- ・案内役がいると、島の隅々まで知ることができ、集合写真などのサービスにも繋がる。
- ・観光客を相手に大島の伝説の伝承が重要。
- ・語り部ガイドなど、人と人の繋がりを重視。
- ・車なしで大島を散策できるようにしなければ。
- ・遊歩道を起点に見所が部分的につくれると良い。



テーブル3 槻橋先生

- ・ロープウェイ再生の契機としての島民による整備があるといい。
- ・民間投入のリスクが考えられる。
- ・年間、季節ごとの運営を考えたい。
- ・昔、お客さんがいないときにリフトが回っていた。
- ・経営方法を考えるべき(市運営からPFI方式へ)
- ・眺望だけでは登る理由が弱い(追悼石碑や南京錠をつけるスポットとはどうか)
- ・頂上まで階段を一段一段登るのも楽しめる。
- ・まず観光の物語を作る。
- ・営業時間を延ばす(ライトアップして20時まで)
- ・登山道をつくる、トレッキングコースなど。
- ・リフト跡地の整備。
- ・4時間は滞在させられる観光の整備。



テーブル4 長峯先生

- ・亀山のリフトが決まらないのはWTとか架橋が決まらないから。
- ・歴史文化の継承は、船や車から見える場所に記念碑の設置。
- ・リフトも必要だが子亀山にハイキングコースがほしい。
- ・気仙沼の観光目玉として亀山を位置付けるべき。
- ・ブームはある。観光に波はつきもの。
- ・橋の道路幅がどれくらいになるか。それがわからないと何もビジョンが描けない。
- ・函館山みたいに上りそう。上って降りる。
- ・気仙沼や陸高が全部残るのは不可能。大島と唐桑と内湾の中で勝負になるのでは。



エコ&アートプロジェクト2013

大島みらいデザインスクール

ついに開校 **主役は大島の中学生!!!**

大島みらいデザインスクールって？

エコ&アートプロジェクト2013では、大島の将来を担う若い人たちと大学生とが大島の未来へむけた共同制作を行うことを目指しています。ともに大島の自然環境を学び、アートの力で楽しい「島づくり」に挑戦します。今回は大島中学校の協力を得て、参加した中学生の皆さんに「**大島みらいデザイナー**」になっていただきます。建築やアートを学ぶ大学生とグループを組んで取り組む「**大島みらいデザインスクール**」を開講します。大島の未来をつくるデザインムーブメントを大島の人々の中から生み出して行きたいと考えています。



大島中学校 × 建築学生

大島に何度もお邪魔している建築学生が中学生のアイデアをベースにアートや環境をデザインします。



大島の未来をデザインする

これまでの「大島の未来を考える会」で寄せられた島民のみなさまのアイデアや知見を活かして大島の未来をデザインします。



大島中学校と連携した実践的復興教育の試み

大島中学校の授業【総合1】の「大島の未来予想図」と題したプログラムと連携した共同研究プログラムです。



「大島みらいデザイナー」の認定

大島復興スタート宣言（仮称）の発表とあわせて、優れた成果を残した中学生に「大島みらいデザイナー」の称号を贈ります。



大島の皆さんにご協力をお願い

中学生に大島のいいところ教えてください

9月14日～16日の間、大島の中学生とともに島の魅力や新たな発見を探して、島内を調査します。もし、中学生と大学生のグループを見かけましたら、大島の住みしか知らないような「大島のいいところ」を教えてください。みなさまの貴重な情報を活かして、大島の未来をデザインします。

大島の未来をデザインしている中学生の姿をぜひ見に行ってください

- 9月14日(土) 13:00～17:00 大島中学校
- 15日(日) 09:00～17:00 大島開発総合センター
- 16日(月・祝) 09:00～12:00 大島開発総合センター

※期間中、調査のため会場を離れている場合があります。

最終日16日13:30より中学生が発表します!!

第8回大島の未来を考える会 **トライアル成果発表** 大島開発総合センター2F

次回のおしらせ：
第8回大島の未来を考える会

山内宏泰氏 基調講演
「クリエイティブに復興する(仮)」
大島みらいデザインスクール
トライアル成果発表

日時 2013年9月16日(月) 13:30～16:00
会場 大島開発総合センター2階
共催 気仙沼大島みらいチーム、大島地区自治会連

大島みらい新聞 No.6 2013年8月29日発行

企画・制作・発行 気仙沼大島みらいチーム
編集長 長峯純一(関西学院大学)
協力 大島地区自治会連絡協議会
写真 藤井達也
デザイン 山田恭平、中村有利、山本十雄馬、磯谷二郎、阪本昌則、関目峻行
お問い合わせ 磯谷二郎
jiro.isogai0246@gmail.com

大島みらいデザインスクール

共催 気仙沼大島みらいチーム
気仙沼市立大島中学校
大島地区自治会連絡協議会
大島地区復興協議会
サントリー文化財団
後援 磯谷二郎(神戸大学大学院生)
連絡先 jiro.isogai0246@gmail.com
080-5700-4899

第8回大島の未来を考える会



山内宏泰氏 基調講演

(美術家・リアスアーク美術館美術館学芸員)

『クリエイティブに復興する(仮)』

エコ&アートプロジェクト2013

大島みらいデザインスクール

トライアル成果発表

日時 | 2013年9月16日(月・祝)

13:30～16:00

会場 | 大島開発総合センター2階

共催 | 気仙沼大島みらいチーム、
大島地区自治会連絡協議会

参加無料・予約不要
お気軽にご参加ください

大島みらいデザインスクール
詳細は p.4 へ▶▶▶